

(見本)

第29号様式(第20条関係)

介護保険負担限度額認定申請書

令和〇年×月△日

(宛先) 寒川町長

次のとおり関係書類を添えて、食費・居住費（滞在費）に係る負担限度額認定を申請します。

フリガナ	サムカワ タロウ		被保険者番号	000000000000
被保険者氏名	寒川 太郎		個人番号	記入不要
住 所	〒253-0000 寒川町○○123		生年月日	昭和20年 ○月 ×日
① 入所(院)した介護保険施設の所在地及び名称(※)	〒253-0000 寒川町△△4-5 □□老人ホーム		電話番号 0000-00-0000	
入所(院)年月日(※)	令和3年 ○月 ×日		(※)介護保険施設に入所(院)していない場合及びショートステイを利用している場合は、記入不要です。	
配偶者の有無	○ 有 · 無		左記において「無」の場合は、以下の「配偶者に関する事項」については、記載不要です。	
② 配偶者に関する事項	フリガナ 氏名 生年月日 住 所		サムカワ ハナコ 寒川 花子 昭和20年 ○月 △日 〒253-0000 寒川町○○123	
			個人番号	記入不要
③ 収入等に関する申告	<input type="checkbox"/> ①生活保護受給者／②市町村民税世帯非課税である老齢福祉年金受給者 <input type="checkbox"/> ③市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が年額80万円以下です。 <small>※ 寡婦年金、かん夫年金、母子年金、準母子年金、遺児年金を含みます。以下同じ。</small> <input checked="" type="checkbox"/> ④市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が年額80万円を超え、120万円以下です。 <input type="checkbox"/> ⑤市町村民税世帯非課税者であって、課税年金収入額と【遺族年金※・障害年金】の収入額、その他の合計所得金額の合計額が年額120万円を超えます。			
④ 預貯金等に関する申告 ※ 通帳等の写しは別添	<input checked="" type="checkbox"/> 預貯金、有価証券等の金額の合計が②の方は1000万円(夫婦は2000万円)、③の方は650万円(同1650万円)、④の方は550万円(同1550万円)、⑤の方は500万円(同1500万円)以下です。 <small>※第2号被保険者(40歳以上64歳以下)の場合、③～⑤の方は1000万円(夫婦は2000万円)以下です。</small>		預貯金額	902,875 円
	有価証券 (評価概算額)	0 円	その他 (現金・負債を含む)	(現金)※ 200,127円

※内容を記入してください

申請者が被保険者本人の場合には、下記について記載は不要です。

⑤ 申請者氏名	寒川 一郎			連絡先 自宅 勤務先 000-0000-0000
申請者住所	寒川町△△1-2-3			本人との関係 長男

注意事項

- この申請書における「配偶者」については、世帯分離をしている配偶者又は内縁関係の者を含みます。
- 預貯金等については、同じ種類の預貯金等を複数保有している場合は、そのすべてを記入し、通帳等の写しを添付してください。
- 書き切れない場合は、余白に記入するか又は別紙に記入の上添付してください。
- 虚偽の申告により不正に特定入所者介護サービス費等の支給を受けた場合には、介護保険法第22条第1項の規定に基づき、支給された額及び最大2倍の加算金を返還していただくことがあります。

～介護保険負担限度額認定申請書の書き方～

- ①入所されている介護保険施設の名称、所在地、入所年月日をご記入ください。（※ショートステイの場合は記入不要です）
- ②配偶者がいる場合は「有」に○をつけ、配偶者の氏名、生年月日、住所、配偶者の市町民税の課税状況等を記入してください。
配偶者がいない場合は「無」に○をつけて下さい。その場合は氏名等の記入は不要です。
- ③収入等に関する申告については、当てはまる所にチェックを入れてください。また、非課税年金を受給されている場合はその種別に○をつけてください。
- ④預貯金額と有価証券、その他（現金や負債等）の金額を記入し、通帳等の写しを添付してください。（※生活保護を受給されている方は必要ありません）
- ⑤申請者が本人と違う場合は、申請者の氏名、電話番号、住所、本人との関係を記入してください。